

決算審査特別委員会

お金の使い方を詳しくチェック



予算の使い方が適正であったか、効果があったかなどをチェックするために「決算審査特別委員会」を設置し、令和6年度各会計決算8議案を3日間にわたり審査しました。審査の結果、いずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。

詳しい内容を知りたい場合は12月中に掲載予定の会議録をご覧ください。



旭市議会
会議録検索システム

令和6年度一般会計決算

総務

問 コミュニティバス運行事業の利用者数は。

答 コミュニティバス運行事業はルートごとに、東西線が4万330人、旭南ルートが8589人、海上ルートが3563人、干潟ルートが4491人で、合計5万6973人の利用があった。

問 デマンド交通運行事業の利用者数は。

答 デマンド交通運行事業は地区別で、旭南地区が2498人、干潟・旭北地区が2465人、海上・飯岡地区が2174人、区域外運行が2229人で、合計9366人の利用があった。

問 定住促進奨励金3073万円の内容は。

答 市外からの転入者が、新築または中古住宅を取得した際に奨励金を交付している。令和6年度は、新築住宅が34件で2600万円、中古住宅が11件で473万円の交付を行った。

民生

問 ファミリー・サポート・センター事業について、活動実績が伸びなかったのはなぜか。また、予算額866万円に対して、決算額が333万2460円となった要因は。

答 活動実績については、11月に事業を開始し、同時に会員の募集も始めたが、2月に初めての利用申し込みがあり、3月に活動が行われたため、実績は5件となった。また、決算額が減った要因については、本事業は当初、委託業務として開設準備金を含んだ予算立てをしていた。プロポーザルを実施したが応募者がなかったことから、市直営で子育て支援センターハニカム内で事業を開始したため、準備にかかる費用が削減された。

環境

問 新型コロナウイルス接種費用助成金について、接種者数とワクチンの有効性は。

答 令和3年度から国の主導で接種を始めており、一定の有効性がある。令和6年度の接種者数は、2755人で、現在は予防接種法のB類疾病の定期接種に該当することから、対象者には副反応などの周知を行い本人の判断で接種してもらっている。

問 住宅用省エネルギー設備設置補助金について、執行率が50%以下の理由を伺う。

答 令和6年度は65件と申請が少なかった。資源エネルギー庁の再生可能エネルギーの固定価格買取制度が終了した中で、発電などの申請が減ってきたというふうに推察している。

農業

問 園芸用廃プラスチック処理対策事業について、令和6年度と前年度の処理量と補助金額は。

答 処理量は、令和6年度は20万5180kg、令和5年度は23万750kgであった。また補助金額は令和6年度が63万580円、令和5年度が71万53250円であった。

問 畜産環境フレッシュ事業について、飼料添加剤と臭気拡散防止資材の効果は。

答 飼料添加剤は1件、臭気拡散防止資材は3件の実績があり、臭気指数が減少するなどの効果が見られ、臭気の低減につながった。



補助金を活用して導入された堆肥舎のメッシュシートカーテン

問 有害鳥獣駆除事業について、前年度と比較した被害額と駆除件数の推移は。

答 令和6年度の被害額は1622万1000円、令和5年度は1699万2000円で横ばいである。カラスなどの害鳥駆除とイノシシの捕獲頭数は横ばい傾向であるが、アライグマは令和6年度64頭で前年度から34頭の増、ハクビシンについては令和6年度29頭で前年度から13頭の増である。

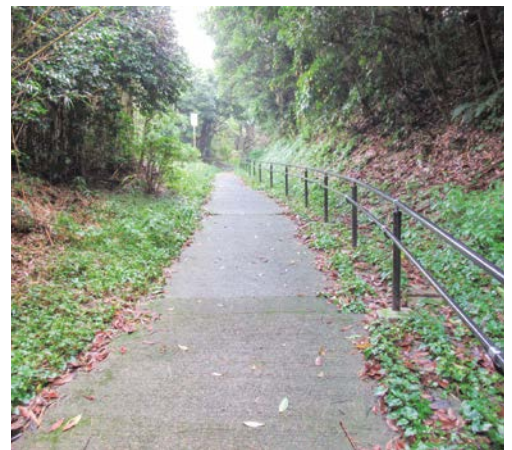
商 業

問 空き店舗活用事業補助金について、内容と実績は。

答 内容は、空き店舗の改装に係るものが、対象経費の2分の1以内で上限100万円、賃借料は対象経費の2分の1以内で上限月額5万円、通算24ヶ月限度である。また、令和6年度の実績は、改装費が4件、賃借料は新規が6件、継続が18件である。

問 観光施設管理費のうち、工事請負費3429万8000円の内訳は。

答 市営海浜プールの改修工事に933万9000円。飯岡刑部岬展望館に至る坂の途中から右側に下りる観光遊歩道の安全施設の設置工事等で1261万7000円。長熊釣り堀センターの浄化槽の設置及びトイレ等の改修工事で1234万2000円となっている。



安全施設を設置した観光遊歩道

消 防

問 防災行政無線等整備事業について、戸別受信機の配布実績と目標配布率はあるのか。

答 事業は令和5年度から令和7年度の複数年で実施し、令和6年度は7946台配布し、配布率は36・2%であった。市内全世帯約2万7000世帯の約80%にあたる2万2000世帯に配布したい。

教 育

問 育英資金給付事業を活用した方の卒業後の進路と旭市に戻ってきた人数は。

答 令和6年度は大学等への進学が21名。就職が19名、うち3名が旭市内へ就職。その他わからない方々が8名となっている。

問 学校いきいきプラン事業について、具体的な活動内容は。

答 主な内容としては、タレントや元オリンピック選手に外部講師を依頼して授業を行ったり、ミュージカル、音楽鑑賞、また地引き網漁体験や遊漁船での海洋体験学習などを実施している。

令和6年度国民健康保険会計決算

問 滝郷診療所について、繰り入れが2000万円と年々負担が増加しているが、施設の在り方について方針は。

答 医師の招聘を最優先に考え、施設のことについては、後任の医師と相談していく。

令和6年度介護保険会計決算

問 配食サービス事業の概要と令和6年度の実績は。

答 本事業は、調理の困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯を対象に、栄養のバランスのとれた食事を提供し、安否確認をするともに介護予防を図っている。実績として、対象者254人に対して2万3806食を配食した。

令和6年度水道会計決算

問 普通の配水管布設はポリエチレン管が使用されるが、口地区で鑄鉄管が使用された理由は。

答 配水管についてポリエチレン管は150mmまでで、200mm以上の場合

は、鑄鉄管を使用するためである。

令和6年度公共下水道会計決算

問 企業債の利率について変動があるが、借り換えの検討はしないのか。

答 借り換えは補償金を支払うことでできるが、試算によると、借り換え後の負担軽減に必ずしも繋がらない。また、繰上償還は利息の軽減が見込めるが、世代間負担の公平性の観点からバランス関係もあり、行えない。

令和6年度農業集落排水会計決算

問 集落排水事業については、市内業者がいらないが、応札できない工事なのか。

答 機材や機械が特別製作によるものがほとんどで、維持管理をする業者は、効率と値段の関係で契約相手が決まってしまう。

決算審査特別委員会委員

委員長	松木源太郎
副委員長	伊場 哲也
委 員	遠藤 保明
	井田 孝
	永井 孝佳
	崎山 華英
	平山 清海
	菅谷 道晴
	常世田正樹